

ペイ・ド・ロワール視察訪問レポート

日仏交流支援委員会主催の「ペイ・ド・ロワール視察訪問イベント」が 2019 年 7 月 4 日(木)に実施されました。総勢 24 名の皆様にご参加いただき、①IRT Jules Verne、②安川電機、そして③Vegepolys Valley を訪問しましたので概要をご紹介します。

ナント駅から最初の目的地である IRT Jules Verne への移動時間を利用して、今回の視察訪問をアレンジ頂いた地域圏経済開発公社のエベルまどかさんから、今回の訪問地方であるペイ・ド・ラ・ロワール地方をご紹介します。パリから大西洋側へ広がる同地方は、産業オートメーション、航空宇宙、造船・セールボート、海洋再生可能エネルギー、車両・モビリティ、食品・農産物、植物資源産業、エレクトロニクス及び IoT を主要産業とし、フランス地域圏の中で最も失業率が低いダイナミックな地域圏です。クラスター、技術研究センター及びテクノキャンパスのネットワークを通じビジネスや研究支援体制を強化することにより、同地域圏の積極的な競争力の底上げを図っています。日系企業では今回訪問した安川電機をはじめトヨタ、NTN、クボタ、三菱ケミカル、日本ガイシ、等の 38 企業が進出し 3,120 人の雇用創出に貢献しています。

IRT Jules Verne 訪問(10:15-11:30):

IRT(Instituts de recherche technologique)は、産業並びに公的研究機関の能力を結集した官民共同投資によるプロジェクトであり、クラスターにより形成されるフランス国内の産業エコシステムの強化を図っています。フランス国内に 8 拠点があり、その内の 1 拠点ある「インダストリー4.0」R&D 拠点である IRT Jules Verne では、Composite Process、Metal Additive Manufacturing、Robotics & Cobotics、Modelling & Simulation 及び Characterization、Control & Monitoring 分野の専門能力を活用し航空、自動車、造船及び再生可能エネルギー産業分野向けに技術開発を行っています、特に、TRL (Technical Readiness Level) 4-5 程度(事業化段階)の課題を支援し、TRL 6-7(プロトタイプレベル)程度まで発展させることを目指しているとの説明がありました。当日は、複合材技術(チタン-アルミ、3D プリント成型等)、3D ケーブルロボット、コボットを見学しました。3D ケーブルロボットは工場の門型クレーンの置き換えや溶接者の置き換えといった用途を想定、コボットは人と協調して部品取り揃え等の支援を想定しているとのことでした。



IRT Jules Verne での記念写真



施設見学の 1 コマ

安川電機訪問(12:00-13:15):

2箇所目の訪問先は、産業用ロボットの分野で世界シェア No.4 の「安川電機」を訪問し、6月6日に引越したばかりの最先端スマートファクトリーショールーム、アカデミー(研修スペース)を見学させていただきました。Yaskawa France は安川電機のディストリビューターであった ERS の買収を機に 1995 年に設立されました。冒頭に Directeur General である Jeangirard 氏より安川電機及び Yaskawa France の概要をご説明頂きました。同社の成長性の高さを実感すると共に、現在日本人ゼロで現地法人を営んでいる同社とは日仏企業文化の違いなどについても率直な質疑応答が参加者と交わされました。ショールームでは 6 モータを使用した産業ロボット等の同社の代表的な製品展示と共に、イベント用のビールサーバーロボットやルービックキューブ合わせロボットの展示がありました。アカデミーは、顧客の需要に合わせてシステム化の提案・実証及び教育を行うエリアとなっており、その隣にサポートセンターが併設され、客先形態を再現した支援を行う体制となっていました。



安川電機において記念撮影



会社説明での 1 コマ

Vegepolys Valley 訪問

ランチ後にはアンジェに移動し、植物産業の R&D 拠点 Vegepolys Valley を見学しました。Vegepolys は 2005 年に植物産業の企業、研究機関及びトレーニングセンターを結集したクラスターであり、2019 年 7 月からクレールモン・フェランに拠点を置く Cereales Valee-Nutravita と合併し Vegepolys Vallee として活動を行っています。アンジェにおいては 700 m²に広がるスペースにて新種の植物開発と研究を進めています。AI を活用した環境管理システムを整備したビニールハウスにおけるリンゴの苗木の病気対策研究や、照明、湿度、温度の全てを完全にコントロールする格納室、研究対象の植物を 3D で撮影・観察できる設備を実際に見学できました。



ビニールハウスでの説明



Vegepolys Valley 建物

この度の訪問受け入れに際し、ペイ・ド・ロワール地域圏経済開発公社 (business solutions Atlantic France) のエベールまどか氏をはじめ、関係者の皆様には大変お世話になりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

在仏日本商工会議所 日仏交流支援委員会